

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

2023年6月22日

宮崎市新栄町91番地
官交タクシー株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	340,085	流動負債	294,739
現金及び預金	237,008	買掛金	15,076
未収運賃	79,206	短期借入金	89,400
未収金	3,671	リース債	759
貯蔵品	213	未払金	22,910
前払費用	16,972	未払費用	97,991
その他の流動資産	3,024	未払法人税等	1,448
貸倒引当金	△ 11	未払消費税等	37,768
		預り金	6,770
		前受収益	9,125
		賞与引当金	13,489
固定資産	90,481	固定負債	394,335
有形固定資産	37,555	長期借入金	314,126
建物	1,583	リース債	644
構築物	87	退職給付引当金	79,564
機械	682		
車両	3,640		
什器	5,556		
土地	24,647		
リース資産	1,357		
無形固定資産	10,360	負債合計	689,074
電話加入権	8,281		
ソフトウェア	2,079	【純資産の部】	
投資その他の資産	42,566	株主資本	△ 258,506
長期前払費用	277	資本金	50,000
繰延税金資産	31,705	利益剰余金	△ 308,506
その他の投資	17,433	その他利益剰余金	△ 308,506
貸倒引当金	△ 6,850	繰越利益剰余金	△ 308,506
		純資産合計	△ 258,506
資産合計	430,568	負債・純資産合計	430,568

官交タクシー株式会社

(注記事項)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

会社計算規則に基づき計算書類を作成しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

株主資本等変動計算書の表示に関する会計基準

「株主資本等変動計算書に関する会計基準」(企業会計基準第6号 2005年12月27日)及び「株主資本等変動計算書に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第9号 2005年12月27日)を適用している。

3. その他の注記

(1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

(2) 重要な会計方針

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法。

② 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産(リース資産を除く)

建物については定額法、その他有形固定資産については、主として定率法によっている。

2016年度税制改正により、2016年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。

尚、主な耐用年数は次のとおりである。

建物および構築物 5～38年

機械装置及び運搬具 2～15年

・無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用している。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

・リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(会計方針の変更)

(2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 2016年6月17日)を当事業年度に適用し、2016年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。

尚、この変更による当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響はない。

③ 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金… 売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- ・賞与引当金… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上している。
- ・退職給付引当金… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見積額に基づき、当会計期間末において発生していると認められる額を計上している。

④ 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっている。但し、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としている。

(3) 貸借対照表注記

有形固定資産の減価償却累計額 452,466千円

(4) 株主資本等変動計算書に関する注記

当会計期間における発行済株式の種類および株式数

普通株式 1,000 株

4. 当期純損益金額

当期純利益 54,910千円